

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく  
矢作川の減災に係る取組方針

【取組の今後の更なる展開内容について】

令和 4年 6月 21日

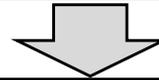
国土交通省 中部地方整備局  
豊橋河川事務所

# 1. 取組の今後の更なる展開内容の検討フロー

例年と同様に、水ビジョンの進捗状況の確認を実施した。  
今回は、従来の進捗状況の調査に加え、取組の更なる展開についても確認した。

## ★現状整理

- ・各機関においては、取組の実施を着実に進めているところである。
- ・実施している取組については、各機関の工夫（更なる展開）を共有していくことが重要。
- ・今年度から新たに5年間の取組が開始。5年間で取り組むべき内容に加え2～3年で取り組むべき内容を策定した。今後更に推進していきたい。

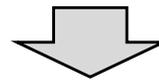


## 取組内容についてアンケートの実施（書面）

- ・取組の進捗状況の調査および取組の更なる推進を目的として実施した。

### 【アンケートの調査内容】

- ①令和3年度実施状況の調査（例年同様の調査）
- ②更なる展開内容として考えられる取組内容を募集  
⇒p.2で示した、特に全8市1町が揃って実施している内容について発展的な取組を募集



## 幹事会（2月） ※アンケートの結果を踏まえてとりまとめ

- ・取組内容の実施状況について報告
- ・水ビジョン取組のフォローアップ



## 矢作川圏域大規模氾濫減災総合協議会（6月）

現時点

## 2. H28～R2までの取組で全8市1町が取組んだ内容の更なる展開の検討

「I：全市町が着手済み」と評価された取組内容に対して、今後更なる展開を目指す。(評価方法はp.3)

「I：全市町が着手済み」と評価された取組内容(R3～R7)は、次の通りである。

具体的な取組の柱	取組内容 (R3～R7)	取組内容の詳細
(1)逃げ遅れゼロに向けた取組	②教育現場での日常的な防災意識の普及・啓発・学習・訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座等を活用した水防災教育を実施する。</li> </ul>
	④多機関関連型タイムライン作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害対応タイムラインを活用して、河川管理者は洪水対応訓練を実施する。また、各市は関係機関と連携して避難訓練等を実施して、明らかになった課題等を踏まえ、既にタイムラインを運用している市町においては、タイムラインの検証・見直しする。</li> </ul>
	⑤わかりやすい防災情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災メール、ケーブルテレビ、FM放送、SNS等を活用した防災情報伝達ツールを活用する。</li> <li>・緊急速報メールを活用した洪水予報等の情報のプッシュ型配信を実施する。</li> </ul>
(2)社会経済被害の最小化を目指した取組み	⑥水防計画の立案・水防活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿川市町は引き続き親水空間の整備、維持管理を行い、住民の生活空間となるよう活用する。</li> <li>・平常時と洪水時の兼用施設（防災ステーション等）の検討・設置し、関係機関と情報を共有し円滑な水防活動等、活用方針を検討する。</li> <li>・水防活動を経験した水防団員等が少なくなっており、水防工法の伝承が困難であるため、多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容の検討、調整をして実施する。</li> <li>・各市町が豊橋河川や県が主催する意見交換会（水防連絡会、水防研修会等）に参加し、関係者の協力内容等について検討・調整する。</li> <li>・水防団員等の減少や高齢化が顕在化しているため、協議会の場等を活用して、水防団の募集、自主防災組織、企業等の参画を促す為の具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施する。</li> </ul>

# (参考) H28～R2までの取組で全8市1町が取組んだ内容の評価方法

H28～R2までの各年の取組状況を整理し、進捗状況を評価した。

- ①各年の取組状況を5段階で評価。
- ②5段階評価より、通年で関係機関全体としての取組着手段階について評価。

全市町が未着手（Ⅲ）、一部の市町しか着手できていない（Ⅱ）状況の項目は来年度以降は重点的に取組みを推進する必要がある。

- ①各関係機関の取組について各年の進捗状況の把握
- ：実施済み、実施あり
  - △：検討中
  - ×：実施なし、未検討
  - －：記載なし、不明
  - ：検討対象外（重要水防箇所未設定市町 等）

- ②各市町の着手段階の把握
- I：全市町が着手済み（一度はどの市町も実施している）
  - II：一部の市町が着手済み
  - III：未着手

具体的な取組の柱 事項	取組内容	取組内容の詳細	実施期間	実施する機関	平成28年度 実施	平成29年度 実施	平成30年度 実施	平成31年度 実施	令和2年度 実施予定	進捗					着手 段階	市町 主体	
										H28	H29	H30	H31	R2			
(1) 逃げ遅れゼロに向けた取組み																	
1) 矢作川の歴史、自然、防災知識の普及の取組み【高頻度洪水・想定最大規模洪水共通の取組み】																	
①住民、教育機関(小、中、高、大等)、企業等への出前講座の実施、みずから守るプログラムの活用	・出前講座等を活用した水防災教育を実施	・出前講座等を活用した水防災教育を実施		岡崎市			・防災出前講座、防災研修会の実施	・防災出前講座、防災研修会の実施	・防災出前講座、防災研修会の実施予定			●	●	●	I	●	
				碧南市			・防災出前講座にて、洪水時の対応啓発を実施	・防災出前講座にて、洪水時の対応啓発を実施	・防災出前講座にて、洪水時の対応啓発を実施			●	●	●			●
				刈谷市	・防災リーダー養成講座の中で水防教育実施	・水防教育イベントPRブース出展	・水防教育イベントPRブース出展	・水防教育イベントPRブース出展	・水防教育イベントPRブース出展	●	●	●	●	●			●
				豊田市	・地域防災カルテの作成	・出前講座の中で浸水想定・避難情報等に関する講座を実施	・出前講座の中で浸水想定・避難情報等に関する講座を実施	・出前講座の中で浸水想定・避難情報等に関する講座を実施	●	●	●	●	●	●			●
				安城市	・まちかど出前講座実施	・出前講座を実施	・要望に随時対応	・出前講座にて実施	・要望に随時対応	●	●	●	●	●			●
				西尾市			・防災講話、防災カレッジの実施	・防災講話、防災カレッジの実施	・防災講話、防災カレッジの実施			●	●	●			●
				知立市			・防災研修会の実施	・住民主体の勉強会へ参加			●	●					
				高浜市				・町内会、学校等からの要望で防災講話を実施	・要望に応じて随時対応					●			●
				幸田町	・矢作川現地視察実施		・災害対策研修会の実施		・防災対策研修会の実施	●	●	●	●				
				愛知県			・総合治水等の講座の開催					●					
				西三河建設				・出水期前を目途に開催を検討						△			
				知立建設			・安城市立梨の里小学校で実施	・要望があれば実施				●	●	－			●
				豊田加茂建設													
				名古屋地方気象台			・出前講座の実施	・出前講座の実施	・出前講座の実施			●	●	●			●
				豊橋河川事務所	・出前講座実施			・パネル展示	・出前講座の実施	●	●	●	●	●			●
				・住民が水害に直面した際に、適切な行動に移せるよう、地域協働型の取組「みずから守るプログラム」を活用	引き続き実施	・住民が水害に直面した際に、適切な行動に移せるよう、地域協働型の取組「みずから守るプログラム」を活用		岡崎市			・実施なし	・実施なし	・実施予定なし				
碧南市			・実施なし					・実施なし	・実施予定なし			×	×	×			
刈谷市			－					・西境地区、泉田地区の2地区で実施	・実施未定			－					
豊田市			・みずから守るプログラム実施									●					
安城市	・みずから守るプログラム	・9/29/10/11/19にプログラムを活用	・取組は継続予定だが、プログラムを活用するかは検討中					・手作りハザードマップの作成、大雨行動訓練の実施。	・継続実施予定	●	●	△	●	●			
西尾市			・実施なし					・実施なし	・実施予定なし			×	×	×			
知立市			・関係自主防災会への啓発や情報提供の実施					・引き続き実施	・引き続き実施			●	●	●			
高浜市								・実施なし	・実施予定なし					×	×		
幸田町									・実施予定なし								
愛知県			・手づくりハザードマップの作成等のみずから守るプログラムの関連取組を実施							●							
西三河建設																	
知立建設			・安城市の2地区で実施	・市を通じて事業PRを行い、積極的に実施地区を募集する	・安城市2地区、刈谷市2地区 計4地区実施	●	●	●	●								
豊田加茂建設					・豊田市の1地区で実施					●							
名古屋地方気象台																	
豊橋河川事務所	・出前講座実施			・出前講座実施	・パネル展示	●	●	●	●	●	●						

### 3. 取組の今後の更なる展開内容の検討(各機関からの提案内容)

取組の今後の更なる展開について、各機関からのアンケート結果を踏まえたまとめを以下に示す。  
各機関の展開内容をそれぞれ推進していきたい。

取組内容の詳細	今後の更なる展開内容（アンケート結果より）
<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座等を活用した水防災教育を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> <li>VRを活用した体験型の防災教育を検討（高浜市）</li> <li>教育委員会との連携による防災教育に係る事業の実施（名古屋気象台）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水害対応タイムラインを活用して、河川管理者は洪水対応訓練を実施する。また、各市は関係機関と連携して避難訓練等を実施して、明らかになった課題等を踏まえ、既にタイムラインを運用している市町においては、タイムラインの検証・見直しする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災メール、ケーブルテレビ、FM放送、SNS等を活用した防災情報伝達ツールを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急速報メールを活用した洪水予報等の情報のプッシュ型配信を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>沿川市町は引き続き親水空間の整備、維持管理を行い、住民の生活空間となるよう活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>平常時と洪水時の兼用施設（防災ステーション等）の検討・設置し、関係機関と情報を共有し円滑な水防活動等、活用方針を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水防活動を経験した水防団員等が少なくなっており、水防工法の伝承が困難であるため、多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容の検討、調整をして実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町が豊橋河川や県が主催する意見交換会（水防連絡会、水防研修会等）に参加し、関係者の協力内容等について検討・調整する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水防団員等の減少や高齢化が顕在化しているため、協議会の場等を活用して、水防団の募集、自主防災組織、企業等の参画を促す為の具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前からの取組を引き続き実施していく</li> <li>団員選出方法の検討（西尾市）</li> </ul>